

保護者各位

平成30年9月3日

かつしか足立持続発展教育協会 (ESD-KA)

代表 藤並 剛

自然観察会参加のお誘い

平成26年、国連ESDの10年が終了し、翌年の平成27年4月に葛飾区と足立区のESD関係者が地域のESD活動を発展することを願って、かつしか足立持続発展教育協会が設立されました。この会は地域の皆様の方で、地域の子どもたちの環境学習や自然学習など体験学習を推進し、大人と子どもが共に地域づくりの担い手として持続可能な社会をつくるために、立ち上げられました。さて、このたびは、身近な公園である都立水元公園で自然観察会を行うことにしました。講師は、NHK教育テレビ『モリゾーキッコロ森へ行こうよ』に出演されていた佐々木洋さんです。この時期渡来している冬鳥を中心に生き物の生態を楽しく解説してくれます。是非、ご参加ください。

記

テーマ：自然観察会『SDGs・身近な自然から地域を見てみよう！～冬の野鳥や越冬昆虫などの生き物と出会う～』雨天決行

日時：平成30年12月2日（日）14：00～16：00（受付は13：30）

場所：都立水元公園

集合場所：東京都水産試験場跡地施設（水辺のいきもの館）

講師：佐々木 洋氏（プロ・ナチュラリスト）

対象：親子、一人参加（小学校4年以上） 参加費：無料（保険も含む）

募集人数：30名 募集期間：9月3日～12月1日

（申込み先順） 但し、募集人数になり次第締め切らせて頂きます。

申し込み方法：下記のところへ（参加される方の氏名（全員）、年齢か学年（全員）、携帯番号）を記入のうえ、メールをしてください。尚、携帯アドレスは、206-t.fuji-ng@ezweb.ne.jpです。

申し込み確認：メールをされて3日以内に、ご連絡させていただきます。

内容：冬鳥や越冬昆虫を中心とする自然観察

持ち物：筆記用具、飲み物、雨具、双眼鏡（ある人）、暖かい服装と運動靴でお越し下さい。

主催：かつしか足立持続発展教育協会 (ESD-KA)

協力：かつしか自然観察グループ（メジロの会）

※今回の観察会は、葛飾区生涯学習援助制度を活用としての開催となります。

《佐々木 洋氏のプロフィール》

1961年、東京都江戸川区に生まれる。(公財)日本自然保護協会自然観察指導員、東京都鳥獣保護員などを経て30年以上にわたり環境教育・自然解説活動を展開してきた。

現在、日本では数少ないプロのナチュラリスト(自然案内人)として、国内外の各地をフィールドに、自然観察会の講師、講演、執筆、写真撮影、テレビやラジオ番組の出演・監修など幅広く活躍している。東京の生き物に関心があり、主に都市動物の研究者である。NPO 法人都市動物研究会理事長、TEPCO環境教育研修会主任講師、日本自然科学写真協会会員、テレビ朝日「ワイド!スクランブル」・フジテレビ「スーパーニュース」・NHK教育テレビ「モリゾーキッコロ森へ行こう」・TBS ラジオ全国こども電話相談室自然担当レギュラー他、NHKテレビ・ラジオなどに出演している。

主に、『ぼくらはみんな生きているー都市動物観察記』(講談社・平成17年度文部科学省認定小学校高学年課題図書)、『都市動物の事件簿』(NTT出版)、『野遊びハンドブック』(光文社)、『フィールド・サインで見つける 街なか生きもの探検ガイド』(NTT出版)、『自然観察アクティビティハンドブック』(東京電力環境部)、『荒川イエローページ』(国土交通省)他、多数の著書がある。

連絡先：株式会社 佐々木洋事務所

〒107-0052

東京都港区赤坂4-13-5 赤坂オフィスハイツ

TEL 03-5114-8170

FAX 03-5114-8171

《かつしか足立持続発展教育協会 (ESD-KA)》

ESD-KAは、子どもたちが地域の人や自然にふれあうことを通じて、意欲や自制心、やり抜く力、社会性、思いやりなどの非認知能力を育むことにより、市民の参画を基礎とした持続可能な社会の実現に向けた教育の推進に寄与することを目的とします。活動の3本の柱として、「環境教育活動」「こどもキャンプ活動」「子どもの貧困に係わる学習支援・生活支援」を考えています。具体的には、自然観察・ネイチャーゲームや生き物調査、ネイチャーゲーム入門講座、ESD・SDGs研修会、こども宿泊キャンプ、子どもの学習支援、こども食堂など、地域の大人と子どもが体験活動を通じて、地域社会の再生に取り組む担い手づくりを推進します。(SDGsの13目標に標準を合わせて活動する社会教育団体です)

連絡先：E-mail/ 206-t.fuji-ng@ezweb.ne.jp